

ひまわり在宅サポートグループ

村田志保子（ ケアマネジャー / 中央介護支援センター / 主任 ）

功 績 ICT活用を事業所内に浸透させ、他事業所との差別化に貢献してくれている功績。
推 薦 者 木原千恵（所長 / 中央介護支援センター）
推 薦 理 由 普段から主任としての役割を理解し、スタッフのサポートや率先して新規の対応をするなど日々業務に励んでいます。今年度、ICT関連に能力を発揮し、不得手なスタッフへの粘り強い指導や浸透に取り組んでいる為、理事長賞に値するとして推薦いたします。

内 容

令和3年度介護報酬改定でICT活用を促す加算など、導入の加速化が支援されるようになりました。コミュニケーションツール等、グループ全体で広まっていくものについてはそれほど問題なく浸透していきましたが、ケアマネジメントとしてのICT活用、ということになった時、どこまで業務に活用できるのか、ということを中心として検討するところから始まりました。

スタッフの年齢も様々でなかなかとつきにくいものです。コロナ禍ということもあり、安定的に業務が行なえる体制を整えるため、まずはオンラインによるサービス担当者会議を行なえるように準備することにしました。その為にはご利用者、ご家族、他事業所、病院、場合によっては行政を巻き込むことも有るので、村田がリーダーとなり、外部の事業者、病院など、オンラインによる会議開催に協力頂けるよう説明とお願いにまわりました。他のスタッフはICTに馴染みがなく、消極的な者もいましたが、今後、コロナ禍が収束したのち居宅介護支援事業所として評価され、生き残っていく為には不可欠なものとして全員で優先して取り組むことを決めました。

村田がほぼ一人で外部に周知活動を行ない、我々に技術的なものをレクチャーし、やると決めてから2か月後には全員がオンラインサービス担当者会議を開催できるようになりました。現在、コロナ感染を気にして会合を希望しないご利用者についてはオンラインを活用しています。また、病院では面会制限があることから、我々からオンライン活用を提案し、オンラインでのカンファレンスや診察に参加することも了承頂けるようになりました。

村田は自分の業務も有りながら、リーダーとして役割を果たし、現在はiPadを使つてのリモートワークなども活発に行なえるよう我々を引っ張ってくれています。

今後も得意な能力を十分に発揮し、圏域でも先行してICTを業務に活かしている事業所として、事業所全体のスキルアップに貢献してくれることを期待しています。